

平成 1 8 年度当初予算 施策別概要

5 5 4 港湾の整備

(主担当部：県土整備部)

- 55401 人の交流を支える港湾ネットワークの形成 (県土整備部)
- 55402 物流機能の充実・強化 (県土整備部)
- 55403 快適な水辺空間の整備 (県土整備部)

< 施策の目的 >

- (対象) 港湾利用者が
- (意図) 物流・人流拠点や親水空間として利用しやすい港湾になっている。

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
入港船舶総トン数 (5 ト以上の船舶) (万トン)	目標値	7 , 9 7 0	8 , 0 0 0	8 , 1 0 0	8 , 2 0 0
	実績 (見込み) 値	7 , 9 6 0	8 , 0 0 0	8 , 1 0 0	-

四日市港、津松阪港及び尾鷲港他県内 1 7 港湾への入港船舶総トン数

< 平成 1 8 年度に残っている課題 >

海上輸送貨物量の増大、船舶の大型化などに対応した物流機能の充実・強化や人の交流を支える港湾ネットワークの形成が必要となっています。このため、岸壁や臨港道路などの港湾施設の整備・改良や小型船だまりの整備に取り組む必要があります。

自然に触れ合う県民のニーズが高まることにより、快適な水辺空間としての港湾の魅力アップが必要となっています。このため、港湾緑地の整備に取り組む必要があります。

岸壁等の既存の港湾施設については、発生が危惧されている大規模地震や老朽化により利用に支障となる施設の機能の強化や維持を図るため、計画的な維持管理に取り組む必要があります。

港湾法の改正により、指定特定重要港湾の指定を受けた四日市港については、ものづくり産業の集積地である中部地域の経済・産業活動の下支えをするための機能強化が求められています。このため、物流機能等を強化し、スーパー中樞港湾にふさわしい国際競争力の向上に取り組む必要があります。

< 平成 1 8 年度の施策の取組方向 >

増大する貨物量や船舶の大型化に対応するため、津松阪港大口地区においては、既存岸壁の増深改良を行い、物流機能の充実・強化を進め、平成 1 8 年度中の供用を図ります。また、中部国際空港への海上アクセス拠点として、浮き桟橋の整備を進めます。さらに津松阪港鷲崎地区においては、旅客施設の安全性をさらに確保するため、防波堤整備を進めます。

地域住民と観光客が憩い、楽しみ、集う魅力ある空間の形成を図るため、鳥羽港佐田浜地区において、鳥羽マリンタウン 2 1 事業として港湾機能の再生のための小型船だまり等の港湾施設の整備と合わせ、港湾緑地整備を進めます。

整備した港湾施設の機能を良好な水準に保ちつつ、大規模地震発生後の緊急物資及び人員の海上輸送を確保できるよう、災害対応力の強化を進めるため、既存の港湾施設の耐震化を図り、より一層経済的で効果的な維持管理を適切に進めます。

四日市港霞ヶ浦北ふ頭国際海上コンテナターミナルを中心とした物流機能の強化や臨港道路・橋梁の整備等による国際競争力の向上や富双地区の緑地整備による親水性の向上などに取り組む四日市港管理組合と連携し、港の振興を図ります。

<主な事業>

国補港湾改修事業【基本事業名：55401 人の交流を支える港湾ネットワークの形成】

当初予算額： 1,733,000千円 1,625,000千円

事業概要：津松阪港大口地区において、-7.5m岸壁の整備を進めます。鳥羽港佐田浜地区において、小型船だまりの整備等を進めます。また、浜島港において、耐震岸壁の整備を進めます。

県単港湾改修事業【基本事業名：55401 人の交流を支える港湾ネットワークの形成】

当初予算額： 0千円 153,000千円

事業概要：津松阪港大口地区において、浮き棧橋の整備を進めます。

港湾緑地一体整備促進事業【基本事業名：55403 快適な水辺空間の整備】

当初予算額： 85,000千円 190,000千円

事業概要：鳥羽港において、港湾緑地の整備を進めます。

公共土木施設維持管理費（港湾関係分）【基本事業名：55401 人の交流を支える港湾ネットワークの形成】

当初予算額： 114,000千円 82,942千円

事業概要：県管理港湾19港において、港湾施設の機能が十分発揮できるよう施設の維持補修、浚渫、港湾緑地の維持管理を進めます。

四日市港振興事業費【基本事業名：55402 物流機能の充実・強化】

当初予算額： 1,653,776千円 1,991,621千円

事業概要：四日市港管理組合への負担金（霞ヶ浦北ふ頭国際海上コンテナターミナルの機能強化や大規模災害時の代替道路機能を確保するための臨港道路等の整備等）